



〈 新型コロナワクチン接種をご希望の方へ 〉

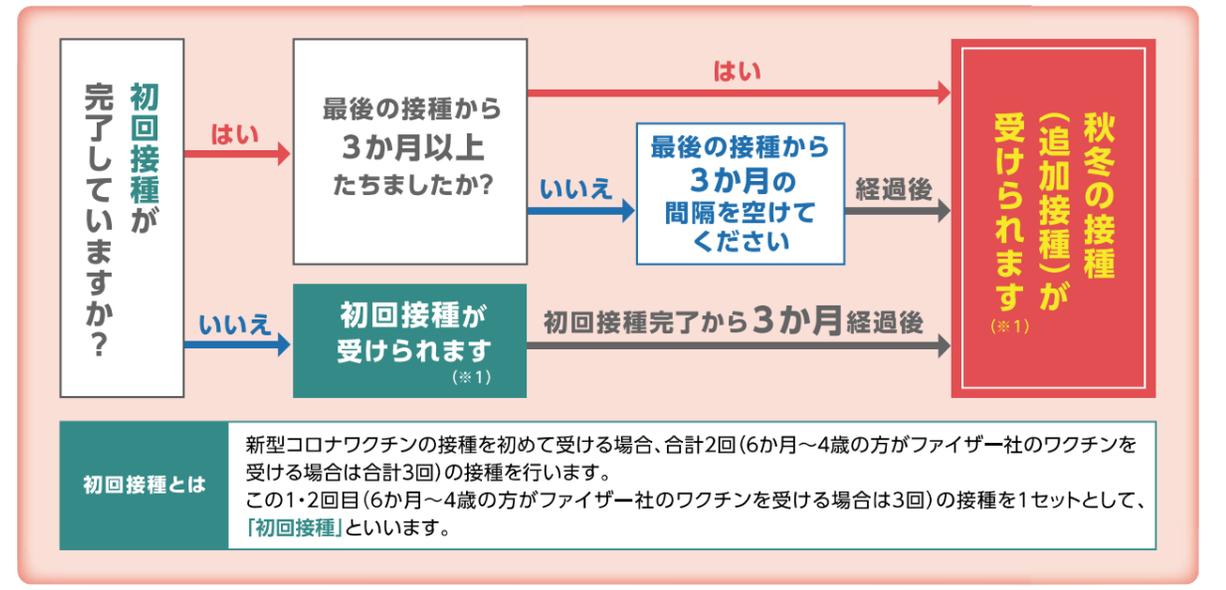
新型コロナワクチンの全額公費による接種は

令和6年3月31日で終了します

オミクロン株 (XBB.1.5) 対応ワクチンの接種対象とワクチンの種類

- **令和5年9月20日以降、生後6か月以上のすべての方に対して、新型コロナのオミクロン株 (XBB.1.5) に対応した1価ワクチン (XBB.1.5 対応ワクチン) の接種が始まりました。**
- **新型コロナワクチンの全額公費による接種は、初回接種、秋冬の接種ともに令和6年3月31日で終了します。** 接種をご希望の方は、期間内に余裕を持って受けてください。
※医療機関の診療日等の関係により、町内医療機関での接種は、3月31日以前に終了する場合があります。
- **令和6年4月1日以降は、65歳以上の方および60～64歳で対象となる方(※)には、秋冬に自治体による定期接種が行われます。**
(※) 60～64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス (HIV) による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方
- **申込方法:web予約又は電話予約 【問】新型コロナワクチンコールセンター:882-7667(平日9時～17時)**

〈 接種対象となる方と接種間隔 〉



Q&A

Q. 令和6年4月以降の接種は有料となるのですか?

A. 65歳以上の方および60～64歳で対象となる方(※)には、新型コロナの重症化予防を目的として、秋冬に自治体による定期接種が行われ、費用は原則有料となります(接種を受ける努力義務や自治体からの接種勧奨の規定はありません。)
令和6年4月1日以降に定期接種以外で接種をご希望の方には、任意接種として、自費で接種していただくこととなります。

(※) 60～64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス (HIV) による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

Q. 令和6年3月31日までに初回接種を完了できない場合はどうなりますか?

A. 令和6年3月31日までに初回接種を完了できない場合、残りの接種は自費で受けていただくこととなります。 初回接種を希望される方は、できるだけ、令和6年3月31日までに必要な接種を完了できるよう余裕を持って受けていただくようお願いいたします。

子ども会創立40周年記念式典 第36回子ども会まつりを開催

2月11日、南風原町子ども会育成連絡協議会の創立40周年記念式典および第36回子ども会まつりを開催しました。記念式典では、これまで40年間の子ども会活動を振り返り、今後更なる発展を願い節目を祝いました。子ども会まつりでは、8種類のゲームをチームで競い合い、盛り上がりを見せました。



子ども会まつり参加者の皆さん

ルンルンはえばるフェスタ

2月3日・4日イオン南風原ショッピングセンターにおいて「ルンルンはえばるフェスタ」が開催されました。会場では「はえばる良品」6品の認定式や町特産品の展示、販売が行われました。また、特設ステージでは、キッズチアダンスや琉球舞踊が披露されるなど、2日間通して多くの来場者で賑わいました。なお、今回認定されたはえばる良品は、広報はえばる4月号で紹介予定です。



当日の会場の様子

南風原ふるさと発見ウォーク

1月28日、地域への愛着心を育み、住民同士の絆づくりを目的とした、イベント「ふるさと発見ウォーク」が4年ぶりに開催されました。(町社会教育委員主催)

親子でウォーキングをしながら地域の史跡を学び、地域の人と顔見知りになる良い機会となりました。



ふるさと発見ウォーク参加者の皆さん

功績に感謝 赤十字表彰

1月24日、浦添市てだこホールにて沖縄県赤十字大会が行われました。同大会は、赤十字事業の推進に貢献された方々を顕彰するために開催され、南風原町赤十字奉仕団の団員10名も表彰されました。



大会終了後の様子。受賞おめでとうございます。

令和5年度 学校応援隊はえばる ボランティア懇親会

1月19日、南風原町立中央公民館黄金ホールにて地域学校協働本部主催のボランティア懇親会が行われました。

懇親会には、日頃お世話になっている学校応援隊はえばるの学習ボランティアと放課後子ども教室のスタッフ、関係者の皆さん約150名が集まり親睦を深めました。

会場では、各学校の活動の様子をまとめたパネル掲示や写真のスライドショー、児童、生徒からお礼のビデオレターなどを見ながら活動を振り返りました。

ボランティアを代表して眞境名春海さんから「活動を通して子どもたちの成長を感じる事は喜びです。これもひとえに南風原町の学校教育へのご理解のお陰だと感謝しています。これからも共に南風原の宝である子どもたちと一緒に育てていきましょう」とご挨拶があり、賛同の拍手が送られました。

改めまして、活動にご協力いただきました皆さまへ心より感謝申し上げます。学校応援隊はえばるは、これからも「地域の子どもをみんなで一緒に育てましょう」をキャッチフレーズに、「できる人が、できることを、できるときに」活動して参ります。未来を担う子どもたちの為、お力添えいただけましたら幸いです。



懇親会当日の様子